セグメント情報の開示拡大について

現在、鹿児島大学では開示すべきセグメント情報について、「国立大学法人会計基準」に従い、財務諸表附属明細書において、大学病院、教育学部附属学校及びその他の区分で公表しております。

令和元年 9 月（平成 30 年度分）に、本学の会計マネジメント改革推進を目的としてセグメント情報の開示拡大を検討し、学部・研究科等を加えたセグメント情報を試行的にホームページに公表しました。令和 2 年 9 月（令和元年度分）も同様の開示を行いましたが、今年も引き続き、令和 2 年度分のセグメント情報として、例年作成している『財務諸表の概説』の公表に合わせて試行的開示を行うこととしました。

ステークホルダーの皆様への「見える化」の取組として、本学の予算管理単位である学部・研究科等をセグメントとして、損益計算書及び主な帰属資産を公表しております。

なお、開示した大学病院及び附属学校以外のセグメントの区分及び数値の計上方法については、現在のところ「国立大学法人会計基準」において明確化されていないため、鹿児島大学では予算配分を行っている単位に応じて区分しており、数値の計上について運営費交付金収益部分は使用セグメントに計上し公開しております。（国立大学法人会計基準等については文部科学省において令和 4 年度適用にて改正を検討されており、セグメント区分や数値の計上方法が明確化された場合は改正に従って計上する予定です。）

また併せまして、財務情報のみではなく非財務情報として令和 2 年度のセグメント別（学部・研究科・附属病院・附属学校・その他）の教育・研究・社会貢献等の成果・実績等を記載し、より本学の状況を理解しやすい形で開示しております。

今回、開示された情報が、学外・学内問わず、様々な議論の基礎として活用されることを希望する次第です。

令和 3 年 9 月
国立大学法人鹿児島大学
副学長（財務・施設担当）　田頭　吉一

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	法文学部・人文社会科学研究科	教育学部・教育学研究科	教育学部附属学校	理学部	医学部・保健学研究科
業務費用					
業務費					
教育経費	208,791	172,498	178,359	104,878	157,571
研究経費	34,766	45,555	100	44,763	40,006
診療経費	－	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－	－
受託研究費	188	－	－	－	7,932
共同研究費	384	1,502	－	－	1,547
受託事業費	183	1,045	266	－	1,955
人件費（注1）	1,054,808	1,054,007	861,875	3,635	495,674
一般管理費	14,643	51,763	3,028	22,128	9,618
財務費用	28	－	－	511	35
雑損	－	－	－	－	－
小　計	1,313,795	1,326,372	1,043,630	175,916	714,342
業務収益					
運営費交付金収益	931,119	932,645	794,767	22,955	438,023
学生納付金収益	1,049,650	549,431	11,187	442,863	703,771
附属病院収益	－	－	－	－	－
受託研究収益	196	－	－	－	8,428
共同研究収益	384	1,570	－	－	1,984
受託事業等収益	183	1,045	266	－	1,955
補助金等収益	104,034	47,341	76,725	41,087	43,915
寄附金収益	5,778	11,833	11,712	33	14,564
施設費収益	885	134,053	－	2,794	3,978
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	5,900	36,442	11,355	4,156	10,744
雑益	16,606	18,143	5,084	219	12,511
小　計	2,114,741	1,732,508	911,100	514,110	1,239,878
業務損益	800,946	406,135	△ 132,530	338,193	525,536
土地	－	11,279,712	1,240,000	－	1,411,224
建物	875,595	1,880,864	984,332	811,466	829,244
構築物	9,807	195,244	78,855	4,516	37,287
工具器具備品	16,045	21,429	12,913	55,318	25,091
船舶	－	0	－	－	－
その他	15,925	9,523	16,997	8,759	10,949
帰属資産	917,374	13,386,776	2,333,099	880,060	2,313,796

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	歯学部	工学部	農学部	水産学部	共同獣医学部・共同獣医学研究科
業務費用					
業務費					
教育経費	45,245	195,901	274,841	291,086	253,788
研究経費	245	11,542	61,886	52,194	97,617
診療経費	－	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－	－
受託研究費	－	－	52,367	13,435	59,906
共同研究費	－	－	49,626	27,330	68,773
受託事業費	－	－	12,099	18,329	6,983
人件費（注1）	1,246	10,276	1,019,805	850,052	737,531
一般管理費	875	35,736	3,638	11,320	1,596
財務費用	－	288	－	46	105
雑損	－	－	－	－	－
小　計	47,613	253,745	1,474,264	1,263,797	1,226,302
業務収益					
運営費交付金収益	－	－	851,391	774,544	555,411
学生納付金収益	172,966	1,111,032	501,796	341,733	113,576
附属病院収益	－	－	－	－	－
受託研究収益	－	－	55,327	14,607	62,554
共同研究収益	－	－	51,646	29,376	70,470
受託事業等収益	－	－	12,134	18,380	7,600
補助金等収益	8,958	81,197	59,797	27,631	55,475
寄附金収益	1,595	5,423	22,773	5,266	19,542
施設費収益	－	456	3,299	4,309	4,027
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	2,296	22,884	30,870	18,441	88,300
雑益	2,762	1,987	95,761	51,124	271,973
小　計	188,579	1,222,982	1,684,799	1,285,416	1,248,933
業務損益	140,966	969,236	210,534	21,619	22,631
土地	211,101	－	25,025,517	5,760,400	－
建物	96,133	3,481,658	1,552,173	938,894	2,164,721
構築物	751	149,582	123,179	95,044	65,142
工具器具備品	3,157	74,137	47,821	57,735	122,676
船舶	－	－	－	1,721,127	－
その他	1,128	15,136	64,453	51,412	122,203
帰属資産	312,272	3,720,514	26,813,145	8,624,614	2,474,743

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	鹿児島大学病院	理工学研究科	農林水産学研究科	医歯学総合研究科	臨床心理学研究科
業務費用					
業務費					
教育経費	28,401	110,632	18,870	200,980	9,143
研究経費	90,014	184,881	7,685	545,789	3,158
診療経費	17,168,339	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－	－
受託研究費	127,880	199,238	－	442,297	－
共同研究費	23,605	82,800	－	60,371	－
受託事業費	70,015	6,033	1,866	4,611	－
人件費（注1）	11,274,907	2,152,555	5,889	2,664,415	123,696
一般管理費	105,137	11,923	134	74,078	850
財務費用	82,405	41	－	－	－
雑損	－	－	－	－	－
小　計	28,970,706	2,748,106	34,446	3,992,545	136,849
業務収益					
運営費交付金収益	3,467,627	1,876,652	7,774	1,951,761	105,652
学生納付金収益	－	394,580	118,906	157,921	20,117
附属病院収益	25,873,909	－	－	－	－
受託研究収益	145,012	220,673	－	469,348	－
共同研究収益	24,405	88,770	－	66,280	－
受託事業等収益	67,365	6,033	2,280	4,756	－
補助金等収益	653,526	4,108	－	8,191	－
寄附金収益	45,727	68,772	－	705,944	1,009
施設費収益	9,356	－	－	84,559	－
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	202,371	58,428	234	144,182	－
雑益	152,394	48,170	－	98,108	3,100
小　計	30,641,697	2,766,190	129,195	3,691,055	129,880
業務損益	1,670,990	18,084	94,749	△ 301,490	△ 6,969
土地	3,428,202	－	－	1,271,404	－
建物	15,514,178	1,923	－	4,244,585	－
構築物	682,547	0	－	135,804	－
工具器具備品	6,632,450	174,008	5,908	434,872	0
船舶	－	－	－	－	－
その他	6,606,645	87,710	7,638	61,514	1,582
帰属資産	32,864,023	263,641	13,547	6,148,181	1,582

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	連合農学研究科	連合獣医学研究科	その他		
			高等教育 研究開発センター	共通教育センター	キャリア 形成支援センター
業務費用					
業務費					
教育経費	157,590	－	78,950	154,199	5,781
研究経費	34,094	－	1,032	20,673	457
診療経費	－	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－	－
受託研究費	－	－	－	－	－
共同研究費	－	－	－	909	－
受託事業費	928	693	－	113	－
人件費（注1）	29,330	－	57,219	400,348	18,748
一般管理費	3,097	－	－	1,107	204
財務費用	－	－	－	－	－
雑損	－	－	－	－	－
小　計	225,041	693	137,202	577,350	25,192
業務収益					
運営費交付金収益	38,917	－	68,189	357,177	10,294
学生納付金収益	43,206	－	－	156	－
附属病院収益	－	－	－	－	－
受託研究収益	－	－	－	－	－
共同研究収益	－	－	－	930	－
受託事業等収益	928	693	－	113	－
補助金等収益	－	－	15,459	－	－
寄附金収益	376	－	416	2,336	150
施設費収益	－	－	－	504	－
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	4,328	－	1,534	26,331	－
雑益	329	－	675	9,825	45
小　計	88,087	693	86,274	397,377	10,489
業務損益	△ 136,954	－	△ 50,927	△ 179,973	△ 14,703
土地	－	－	－	－	－
建物	37,806	0	－	1,678,527	－
構築物	0	－	－	59,751	－
工具器具備品	14,370	616	－	52,840	－
船舶	－	－	－	－	－
その他	1,120	－	7,852	974	－
帰属資産	53,297	616	7,852	1,792,094	－

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	その他				
	アドミッションセンター	グローバルセンター	医用ﾐﾆﾌﾞﾀ・先端医療開発研究センター	研究支援センター	国際島嶼教育研究センター
業務費用					
業務費					
教育経費	12,393	6,479	157	2,197	253
研究経費	1,411	1,459	5,748	96,469	12,595
診療経費	－	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－	－
受託研究費	－	－	45	5,860	125
共同研究費	－	－	11,419	1,919	－
受託事業費	－	－	－	211	－
人件費（注1）	4,263	72,565	45,413	96,073	51,860
一般管理費	239	－	－	2	873
財務費用	－	－	－	－	－
雑損	－	－	－	－	－
小　計	18,309	80,504	62,784	202,734	65,709
業務収益					
運営費交付金収益	12,443	36,030	29,730	65,154	47,838
学生納付金収益	－	－	－	－	－
附属病院収益	－	－	－	－	－
受託研究収益	－	－	－	5,175	－
共同研究収益	－	－	11,419	1,919	－
受託事業等収益	－	－	－	8	－
補助金等収益	－	8,796	－	24	－
寄附金収益	451	300	14,344	10,166	1
施設費収益	－	－	－	－	－
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	557	133	1,752	11,831	633
雑益	330	1,463	4,616	12,255	2,115
小　計	13,782	46,724	61,863	106,535	50,588
業務損益	△ 4,526	△ 33,780	△ 921	△ 96,198	△ 15,120
土地	－	－	－	95,955	－
建物	－	－	－	209,367	2,087
構築物	－	－	－	553	－
工具器具備品	560	523	3,342	116,840	1,941
船舶	－	－	－	－	－
その他	－	－	142	210	－
帰属資産	560	523	3,484	422,927	4,029

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	その他				
	産学・地域 共創センター	地震火山 地域防災センター	司法政策 教育研究センター	ヒトレトロウイルス学 共同研究センター	附属図書館
業務費用					
業務費					
教育経費	2,820	379	8,016	119	38
研究経費	56,273	37,336	6,688	35,313	34,938
診療経費	－	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－	299,778
受託研究費	35,692	8,657	－	19,463	26,187
共同研究費	5,498	8,908	－	5,137	14,765
受託事業費	－	4,679	－	－	1,333
人件費（注1）	78,029	37,970	3,096	87,425	230,965
一般管理費	730	721	－	496	150
財務費用	－	－	－	32	92
雑損	－	－	－	－	－
小　　計	179,046	98,653	17,802	147,989	608,250
業務収益					
運営費交付金収益	73,379	35,726	－	105,896	181,527
学生納付金収益	－	－	－	－	－
附属病院収益	－	－	－	－	－
受託研究収益	37,431	9,119	－	21,950	26,379
共同研究収益	6,976	9,378	－	5,388	14,781
受託事業等収益	－	4,679	－	－	1,398
補助金等収益	60	－	－	－	－
寄附金収益	1,213	327	4,700	363	6,500
施設費収益	－	－	－	880	1,972
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	10,771	11,702	415	3,630	80,337
雑益	35,766	471	150	750	1,028
小　　計	165,599	71,405	5,266	138,858	313,925
業務損益	△ 13,446	△ 27,248	△ 12,535	△ 9,131	△ 294,324
土地	－	625	－	－	50,033
建物	268,065	26,425	－	－	658,922
構築物	1,041	33	－	－	2,496
工具器具備品	20,697	15,334	1,513	26,152	19,951
船舶	－	－	－	－	－
その他	230,753	15	6	9,371	4,645,764
帰属資産	520,557	42,434	1,519	35,523	5,377,168

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	その他				
	保健管理センター	稲盛アカデミー	総合研究博物館	学術情報基盤センター	埋蔵文化財調査センター
業務費用					
業務費					
教育経費	19,412	10,211	125	20,303	44
研究経費	0	4,812	18,262	3,858	8,140
診療経費	－	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	135,921	－
受託研究費	－	－	1,301	－	－
共同研究費	－	－	4,424	1,154	－
受託事業費	－	－	－	－	－
人件費（注1）	67,682	25,391	41,722	62,184	34,037
一般管理費	－	－	－	－	5
財務費用	－	－	－	1,530	－
雑損	－	－	－	－	－
小　計	87,095	40,415	65,836	224,953	42,227
業務収益					
運営費交付金収益	49,385	14,114	26,839	51,899	25,131
学生納付金収益	－	－	－	－	－
附属病院収益	－	－	－	－	－
受託研究収益	－	－	1,301	－	－
共同研究収益	－	－	4,635	1,210	－
受託事業等収益	－	－	－	－	－
補助金等収益	－	－	－	279	－
寄附金収益	－	15,775	1,707	－	483
施設費収益	－	－	957	－	－
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	4,808	5,324	150	5,551	314
雑益	－	1,759	2,230	28	714
小　計	54,193	36,974	37,822	58,967	26,643
業務損益	△ 32,902	△ 3,440	△ 28,014	△ 165,985	△ 15,583
土地	－	－	－	－	－
建物	96,914	146,717	13,761	187,878	－
構築物	1,014	4,413	0	1,228	－
工具器具備品	7,946	829	16	80,632	1,123
船舶	－	－	－	－	－
その他	236	158	12,763	677	0
帰属資産	106,112	152,120	26,542	270,416	1,123

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	その他				合　計
	環境安全センター	北米教育研究センター	事務局	法人共通	
業務費用					
業務費					
教育経費	18	－	389,132	－	3,119,616
研究経費	15,910	－	18,932	－	1,634,621
診療経費	－	－	－	－	17,168,339
教育研究支援経費	－	948	329	－	436,977
受託研究費	－	－	24,927	－	1,025,509
共同研究費	－	－	330	－	370,409
受託事業費	－	－	980	－	132,329
人件費（注1）	7,563	1,219	1,785,194	－	25,548,685
一般管理費	－	－	585,404	－	939,511
財務費用	－	－	8	－	85,127
雑損	－	－	－	－	－
小　　計	23,492	2,168	2,805,239	－	50,461,127
業務収益					
運営費交付金収益	6,686	－	1,432,330	－	15,379,019
学生納付金収益	－	－	－	－	5,732,897
附属病院収益	－	－	－	－	25,873,909
受託研究収益	－	－	△ 61,601	－	1,015,906
共同研究収益	－	－	△ 18,083	－	373,446
受託事業等収益	－	－	△ 353	－	129,471
補助金等収益	－	－	30,446	－	1,267,058
寄附金収益	8	－	126,600	－	1,106,206
施設費収益	－	－	52,502	－	304,539
財務収益	－	－	－	13,587	13,587
資産見返負債戻入	571	－	142,831	－	950,125
雑益	－	－	243,077	－	1,095,580
小　　計	7,266	－	1,947,751	13,587	53,241,749
業務損益	△ 16,226	△ 2,168	△ 857,487	13,587	2,780,621
土地	－	－	3,565,229	－	53,339,405
建物	－	－	3,220,448	－	39,922,693
構築物	－	－	402,047	－	2,050,346
工具器具備品	1,386	－	138,161	－	8,188,348
船舶	－	－	0	－	1,721,127
その他	－	－	117,023	24,966,896	37,075,548
帰属資産	1,386	－	7,442,911	24,966,896	142,297,471

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	（参考再掲）理工学系			
	理学部	工学部	理工学研究科	理工学系合計
業務費用				
業務費				
教育経費	104,878	195,901	110,632	411,411
研究経費	44,763	11,542	184,881	241,188
診療経費	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－
受託研究費	－	－	199,238	199,238
共同研究費	－	－	82,800	82,800
受託事業費	－	－	6,033	6,033
人件費（注1）	3,635	10,276	2,152,555	2,166,466
一般管理費	22,128	35,736	11,923	69,788
財務費用	511	288	41	840
雑損	－	－	－	－
小　計	175,916	253,745	2,748,106	3,177,769
業務収益				
運営費交付金収益	22,955	－	1,876,652	1,899,607
学生納付金収益	442,863	1,111,032	394,580	1,948,476
附属病院収益	－	－	－	－
受託研究収益	－	－	220,673	220,673
共同研究収益	－	－	88,770	88,770
受託事業等収益	－	－	6,033	6,033
補助金等収益	41,087	81,197	4,108	126,393
寄附金収益	33	5,423	68,772	74,229
施設費収益	2,794	456	－	3,251
財務収益	－	－	－	－
資産見返負債戻入	4,156	22,884	58,428	85,470
雑益	219	1,987	48,170	50,377
小　計	514,110	1,222,982	2,766,190	4,503,283
業務損益	338,193	969,236	18,084	1,325,514
土地	－	－	－	－
建物	811,466	3,481,658	1,923	4,295,047
構築物	4,516	149,582	0	154,098
工具器具備品	55,318	74,137	174,008	303,463
船舶	－	－	－	－
その他	8,759	15,136	87,710	111,606
帰属資産	880,060	3,720,514	263,641	4,864,216

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	（参考再掲）医歯学系			
	医学部・保健学研究科	歯学部	医歯学総合研究科	医歯学系合計
業務費用				
業務費				
教育経費	157,571	45,245	200,980	403,797
研究経費	40,006	245	545,789	586,041
診療経費	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－
受託研究費	7,932	－	442,297	450,230
共同研究費	1,547	－	60,371	61,919
受託事業費	1,955	－	4,611	6,567
人件費（注1）	495,674	1,246	2,664,415	3,161,337
一般管理費	9,618	875	74,078	84,572
財務費用	35	－	－	35
雑損	－	－	－	－
小　計	714,342	47,613	3,992,545	4,754,501
業務収益				
運営費交付金収益	438,023	－	1,951,761	2,389,784
学生納付金収益	703,771	172,966	157,921	1,034,658
附属病院収益	－	－	－	－
受託研究収益	8,428	－	469,348	477,777
共同研究収益	1,984	－	66,280	68,264
受託事業等収益	1,955	－	4,756	6,712
補助金等収益	43,915	8,958	8,191	61,065
寄附金収益	14,564	1,595	705,944	722,105
施設費収益	3,978	－	84,559	88,538
財務収益	－	－	－	－
資産見返負債戻入	10,744	2,296	144,182	157,223
雑益	12,511	2,762	98,108	113,382
小　計	1,239,878	188,579	3,691,055	5,119,513
業務損益	525,536	140,966	△ 301,490	365,012
土地	1,411,224	211,101	1,271,404	2,893,730
建物	829,244	96,133	4,244,585	5,169,963
構築物	37,287	751	135,804	173,843
工具器具備品	25,091	3,157	434,872	463,121
船舶	－	－	－	－
その他	10,949	1,128	61,514	73,592
帰属資産	2,313,796	312,272	6,148,181	8,774,251

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度　鹿児島大学セグメント情報の詳細について

（単位：千円）

区　分	（参考再掲）農水産獣医学系				
	農学部	水産学部	共同獣医学部・共同獣医学研究科	農林水産学研究科	農水産獣医学系合計
業務費用					
業務費					
教育経費	274,841	291,086	253,788	18,870	838,586
研究経費	61,886	52,194	97,617	7,685	219,384
診療経費	－	－	－	－	－
教育研究支援経費	－	－	－	－	－
受託研究費	52,367	13,435	59,906	－	125,710
共同研究費	49,626	27,330	68,773	－	145,729
受託事業費	12,099	18,329	6,983	1,866	39,277
人件費（注1）	1,019,805	850,052	737,531	5,889	2,613,278
一般管理費	3,638	11,320	1,596	134	16,690
財務費用	－	46	105	－	151
雑損	－	－	－	－	－
小　計	1,474,264	1,263,797	1,226,302	34,446	3,998,810
業務収益					
運営費交付金収益	851,391	774,544	555,411	7,774	2,189,121
学生納付金収益	501,796	341,733	113,576	118,906	1,076,012
附属病院収益	－	－	－	－	－
受託研究収益	55,327	14,607	62,554	－	132,490
共同研究収益	51,646	29,376	70,470	－	151,493
受託事業等収益	12,134	18,380	7,600	2,280	40,396
補助金等収益	59,797	27,631	55,475	－	142,903
寄附金収益	22,773	5,266	19,542	－	47,582
施設費収益	3,299	4,309	4,027	－	11,637
財務収益	－	－	－	－	－
資産見返負債戻入	30,870	18,441	88,300	234	137,847
雑益	95,761	51,124	271,973	－	418,859
小　計	1,684,799	1,285,416	1,248,933	129,195	4,348,345
業務損益	210,534	21,619	22,631	94,749	349,534
土地	25,025,517	5,760,400	－	－	30,785,917
建物	1,552,173	938,894	2,164,721	－	4,655,789
構築物	123,179	95,044	65,142	－	283,367
工具器具備品	47,821	57,735	122,676	5,908	234,142
船舶	－	1,721,127	－	－	1,721,127
その他	64,453	51,412	122,203	7,638	245,707
帰属資産	26,813,145	8,624,614	2,474,743	13,547	37,926,050

（注1）人件費については各所属にて計上しておりますが、附属病院及び附属学校については会計基準及び実務指針に従い勤務実態に応じた補正を行っております（実務指針Q76－1）。

令和2年度の主な教育・研究・社会貢献等の成果・実績等

※学部・研究科・附属病院・附属学校・その他セグメントにおける成果・実績等を記載

法文学部・人文社会科学研究科

■法文学部改組後の取組

改組の完成年度を迎えた法文学部では、教育体制やカリキュラムの問題点を探るために、10 月に学生アンケート、11 月に外部評価を実施した。その結果を受けて、各学科・コースでカリキュラムの見直しや科目の精選を行って令和3年度からの改善を図るとともに、改組に係る学部長諮問委員会の下に法文アドバンスト科目に関するワーキンググループを設置し、法文スタンダード科目、アドバンスト科目に関する大幅な見直し作業に着手した。

人文社会科学研究科では、各専攻においてカリキュラムの見直しや授業科目の精選を行うとともに、令和4年度からの教育学研究科からの教員移籍に伴う新たな体制について検討を進めた。その結果、令和3年度から各専攻で授業科目を拡充するとともに、令和4年度には人文系2専攻の専門分野の再編を実施することを決定した。

教育学部・教育学研究科

■教育学研究科の改革に向けた取組

教育学研究科改組に伴う設置申請を進め、8月 17 日には設置審より設置可の回答を得、「設置報告書」を 11 月中旬に提出し、11 月 25 日に受領確認の報告を受けた。また設置に向け、運営組織や教員の採用、研究科入試に係る規程の整備や見直しを行った。

教育学部附属学校

■ICT を活用した業務の効率化

ICT 活用による業務の効率化を図る中で、附属小学校では、新たな校務支援システムを導入し、年度末における資料作成に要する時間を令和元年度の40%程度に短縮することができた。ウェブ会議システムや YouTube チャンネルを活用した授業公開などに取り組んでいる中、附属中学校では Zoom を利用して、美術科の授業において、奄美大島在住の製作者から伝統工芸品の大島紬についての説明を受けるなど、遠隔教育と外部人材活用の機会を設け、新たな学びに関する研究実践を深めている。また、GIGA スクール構想による ICT機器の整備を受けて、その令和3年度の活用方法について3月に開催した教育学部・附属学校園 ICT 活用委員会において情報交換を行った。

■新型コロナウイルス感染症への対応について

附属小学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休校中の児童の学びの支援として、YouTube チャンネルを開設し、全 36 本の学習動画を作成、配信した。また、配信動画とリンクした紙媒体課題も併せて作成、配布したほか、Google Form を活用した学習状況の把握や学習課題に対する児童のニーズ把握も実施した。

取組にあたっては、学習内容や学習活動に照らした動画の役割の明確化と撮影内容の精選（共通体験、課題発見、ポイント把握など）を意識した。また、パスワードを保護者に通知しての限定配信とするなど、諸リスクに配慮した撮影と配信を行った。

動画視聴という共通体験により、学校再開後の見学活動等の簡略化に繋がった。また、児童の学習意欲の喚起にも効果があった。

■附属小学校、附属中学校の将来構想の検討

「附属学校園運営協議会将来計画分科会」を開催し、各附属学校園の将来構想について協議した。附属小学校では、教育実習生受入の拡充や教科担任制など働き方改革に着目した人員活用構想について、附属中学校では、働き方改革の促進を考慮しながらの今後の研究公開の在り方について、附属特別支援学校では、全学的なマネジメントにおける特別支援教育の推進に係る内容等についての素案の検討を行った。

理学部

■コア・サイエンス・ティチャー養成コースの実施

地域小中学校教員が参加するコア・サイエンス・ティチャー養成コースを鹿児島県教育委員会や鹿児島市教育委員会等と協力して実施し、6名の修了者を輩出した。

12月にプログラミング教育の講座である「数理データサイエンス講座」を開講した。

医学部・保健学研究科

■アクティブ・ラーニング型授業の拡充

医学部ではコロナ禍の影響で臨床実習の同意取得が困難な状況においてはシミュレーターの活用、カルテ閲覧を促すなど参加型に近い臨床実習を工夫した。前年度の学生が収集した医療情報を基にした模擬患者を用い、身体的・精神的・社会的なアプローチから、全人的医療について討論をしながら学ぶ学修方法を模索し、実施した。学生のカルテ記載においてはカルテ開示に耐えうる指導のあり方を検討した。

保健学研究科についても令和2年度は多くの授業がオンライン形式での実施を余儀なくされたが、そのなかでもZoomのグループセッション機能等を活用するなどの工夫で、平時の対面授業と同程度のアクティブ・ラーニングが導入された。

歯学部

■歯学部IR室に関する取組

歯学部研究体制委員会、歯学部IR室の共同作業により、DB Spiralからの自動業績集計システムを整備し、歯系研究者情報、部局内研究業績の収集・管理を行った。同時に、自動集計を利用することで、業績収集等に関わる研究者の負担軽減を実現した。

工学部

■地域防災分野に関する取組

海洋土木工学科棟の改修により、鹿児島特有の過酷環境地域（豪雨、火山、シラス地盤、島嶼、海洋等）を踏まえた「防災」「環境保全と開発」に関する教育研究が推進され、地域防災分野のプロジェクトスペース設置、産学官との共同研究を進めている「シラスコンクリート」採用等による校舎の実証建物化等により、「地域特有の環境や防災等の研究推進」実現のための拠点強化を図る整備を実施し、成果を得た。

農学部

■農学部附属高隈演習林に関する取組

令和元年度末から流行している新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、予定していた大学からの利用が大きく減少した。3月末時点での受入実績は 213 名であり（計画人数 550 名（延べ人数））、受入計画人数に対する達成率の評価基準である KPI(a)は 38.7%であった。文系分野の利用率を 25%以上に増加することを目標とする KPI(b)は 39.0%であり、計画を大きく上回ることができた。令和2年度は他県への移動は控えて広報活動等は自粛し、施設内の感染防止対策や実習プログラムの改善などに取り組み、試行的にオンラインでの対応も実施した（岩手大学：延べ 24 名の利用に対応）。

水産学部

■水産学部附属練習船「かごしま丸」に関する取組

水産系の共同利用拠点練習船が連携して実施する沖合海域における漂流・海底ごみの分布調査等を通した各拠点関係者との情報共有・交換及び人的交流を継続するとともに、利用大学へのアンケート結果に基づく実習内容の検証、建造 10 年目を迎えるかごしま丸の海洋観測・漁業実習用測器及び学生用図書の保守・更新を行い、洋上教育の質的充実に不可欠な設備と環境を整備した。また、初等中等教育の海洋教育指導に資する乗船実習プログラム・教材の開発に着手した。

また、練習船の学外利用促進のための環境整備として「鹿児島大学水産学部附属練習船かごしま丸単独利用規則」の一部改正を行ったことで、4,000 万円の収入増となり、本学と相互施設利用の協定を締結した機関による利用実績に繋がった。

共同獣医学部・共同獣医学研究科

■共同獣医学部の教育改革促進に関する取組

アジア初の 欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）認証校である4大学（北海道大学、帯広畜産大学、山口大学、鹿児島大学）が国内獣医系大学における教育改革を促進させる新たな取組として、4大学に特色ある実習拠点形成構想を本学が主導した。EAEVE 関係者に代わり、認証取得に向かう他大学のコンサルテーションを本学教員が行った。EAEVE による認証更新・維持に向けて山口大学と本学の2法人間で合意した。

鹿児島大学病院

■地域医療機関と連携した新型コロナウイルス感染症対策への地域貢献

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、本院感染制御部では患者受入体制整備、院内感染対策に加え、行政・各種団体と協力したクラスター発生時対応・予防活動の推進を図った。

①クラスター発生時の医療機関・介護施設・行政機関支援

本院感染制御部は、鹿児島県・鹿児島市と共同で、地域の感染管理認定看護師とともに、医療機関・介護施設クラスター発生時の疫学評価・感染対策支援の中心的役割を果たした。また、離島の多い地域特性から、厚生労働省クラスター班との連携の下、離島クラスター発生時の公衆衛生機能の支援も行った。

②患者受入医療機関の対策支援

鹿児島県医師会を窓口とし、受入医療機関のゾーニング相談対応や、ホームページ上でのマニュアルなどの公開を行い、県内での感染対策標準化を図った。

③医療機関・介護施設クラスター発生予防

鹿児島県看護協会と共同で、地域医療機関の感染管理認定看護師による医療機関・介護施設での対策強化の支援にあたった。

これらの活動は、コロナ禍だけでなく、構築されたスキームを活用し、薬剤耐性菌対策など、地域での感染対策強化にさらに努めていく予定である。

■人工呼吸・ECMO 講習会の開催

10 月 18 日に本院で、厚生労働省 ECMO チーム等養成研修事業「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策 人工呼吸・ECMO 講習会」を、また3月 21日に本院独自の「ECMO 研修会」を開催した。治療中は、24 時間態勢での管理が必要になる上、回復には2週間以上要することもあり、熟練した「医療チーム」が必要となる。本講習会を通じて、本格的な実践練習を行うとともに、医師・看護師・臨床工学技士など多職種との連携強化も図られ、医療従事者にとって大変有意義な機会となった。

■特定看護師の育成と活用

本院看護師特定行為研修センターにおいて、令和2年度からパッケージでの看護師特定行為研修が開始され、本院では2名の看護師が特定行為研修（外科術後病棟管理領域パッケージ）を修了した。また、令和2年度は、本院の特定看護師として新たに3名が新規認定（計 10 名）され、9区分 17 行為（腹腔ドレーン管理、栄養に係るカテーテル管理関連新規追加）に拡大された特定行為を、3月までに 98 名の患者へ延べ 475 件（令和元年度 95 名 358 件）実施できた。併せて急変時の事例検討や重症患者の術後訪問、看護師の教育等に携わり、医師不在時のタイムリーで適切な対応や患者の重症化予防及び看護の資質向上に寄与している。

■がんの医師主導治験の開始

本院では、がん治療薬として独自に開発を進めている腫瘍溶解性ウイルス「サバイビン反応性 m-CRA-1」を用いた膵がんの医師主導治験を開始した。

治験は、本院消化器内科、光学医療診療部らが中心となって行い、2年間で 24 名を対象に安全性と有効性を評価し、実用化を目指す。

理工学研究科

■小型ロケット打ち上げ成功

本学や県内の大学、企業からなる研究チーム鹿児島ハイブリッドロケット研究会（代表 理工学研究科教授）は、ハイブリッドロケット「鹿児島ロケット2号機 ユピテル号」の打上げ実験を実施し、見事目標高度 450m に到達させた。

■「IoT 実証ラボ」による AI・IoT 技術を応用した取組

理工学研究科附属地域コトづくりセンター内に整備した「IoT 実証ラボ」では、本学郡元中央食堂混雑状況の可視化システムを構築し、混雑状況に即応した食堂スタッフの適切配置を通じたサービス向上、食堂利用者への混雑状況と今後の予測の提供による新型コロナウイルス禍での三密回避実証試験を実施した。

農林水産学研究科

■農林水産学研究科の国際的取組

農林水産学研究科において中国湖南農業大学とのダブル・ディグリープログラム（DDP）に関する協定を締結し、現在はベンハ大学（エジプト）とのDDPの締結に向けて協議及び書類作成を進めている。

医歯学総合研究科

■国際水準の卓越した研究の推進

先進的感染制御（難治性ウイルス疾患）では、新型コロナウイルスに対する新規治療法の開発を開始した。その結果、3種類の化合物の抗ウイルス効果を同定することに成功し、3件の特許申請を行った。

先進的感染制御（人獣共通感染症等）では、2月5日にヒトレトロウイルス学共同研究センターと合同で、プロテアソームの最新研究に関するセミナーを開催した。

難治性がんでは、難治性がんへの遺伝子ウイルス治療開発の研究で骨腫瘍の承認を目指した医師主導治験第Ⅱ相を開始し、AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）事業事後評価でも高い評価を受け、さらに令和3年度 AMED 革新がん事業（大型）にも新規採択された。

臨床心理学研究科

■国際的な視点による取り組みと社会連携

臨床心理学研究科は高度専門職業人である臨床心理士養成を主眼とした専門職学位課程であり、特色や入試に関わる情報を全て日本語と英語で研究科HPに集約し、グローバルな視点での随時更新・発信を行っている。令和2年度は、初めての留学生特別選抜による出願があった。また、社会連携として「教育課程連携協議会」を設置し、ステークホルダーによる本研究科の教育課程についての評価を継続的に受ける場として、平成2年度は、新型コロナウイルス対策のためメール会議にて、2回開催した。

連合農学研究科

■「島嶼、環境、食と健康、水、エネルギー」の取組

研究科長裁量経費と学長裁量経費により令和2年度は、「連合農学研究科先進的研究推進事業」として4件、「連合農学研究科女性教員研究支援事業」として4件を採択し、支援を実施した。

学長裁量経費による二次募集（2件）では、3大学連携による「島嶼、環境、食と健康、水、エネルギー、防災」に関わる地域特有の研究課題を推進した。

その他：アドミッションセンター

■離島地域の志願者数拡充に向けた取組

県内離島地域からの志願者数の拡充に向けて、県立大島高等学校で「鹿児島大学単独説明会」を開催（7月 11 日開催。オンライン開催）し 50 名の参加があり、学部の特徴や選抜方法の説明を行った。また、沖永良部高校（7月3日）、喜界高校（7月3日）、屋久島高校（7月9日）、徳之島高校他1ヶ所（7月 14 日、15 日)を訪問しての進学説明会を行い、計 153 名の参加があった。

また、本学関係者と離島高校の進路指導教諭等を構成員とした「鹿児島大学離島地域進学率向上のための連絡協議会」を開催（書面開催。1月中旬実施）して、離島地域における志願者増に向けての意見交換を行った。

その他：グローバルセンター

■大学の世界展開力強化事業とコロナ禍におけるオンライン国際協働学習等の有効活用

学生海外派遣総数の評価指標「平成 33 年度までに平成 26 年度実績(基準値264 名)の 1.2 倍(目標値 316 名)」は、令和元年度に 332 名を達成した。しかしながら、令和2年度はコロナ禍により海外派遣は実施できなかった。

この状況で、大学の世界展開力強化事業（2018 年度 COIL 型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援「米国から鹿児島、そしてアジアへ－多極化時代の三極連携プログラム」、以下「本事業」）は、文部科学省により定められた本事業プログラム委員会による中間評価を受審し、総括評価Aを得た。また、本学が組織した外部評価委員会による評価を実施し、総合評価Sを得た。コロナ禍の中、事業開始3年度目の知見と実績を活かして、実渡航の代替として全学規模で COIL を強化拡大し、以下のとおり受講生数が目標値を大幅に上回った。

その他：産学・地域共創センター

■鹿児島大学認定ベンチャーがPCR 検査キットを開発・販売

産学・地域共創センターが 10 年以上事業化を支援してきた鹿児島大学認定ベンチャーの株式会社スディックスバイオテック（代表取締役 理工学研究科教授）が、独自の糖鎖ナノ粒子を用いて、インフルエンザ（A型・B型）と新型コロナの3種のウイルスを同時に測定できる PCR 検査キットの開発に成功し、10 月 23 日に製造販売承認、11 月 11 日に保険償還が決定し、11 月末から順次製造を開始した。

その他：ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■新型コロナウイルスの研究スタートアップ研究支援助成金制度を開始

「ヒトレトロウイルス学共同研究センター」は、鹿児島大学の「難治ウイルス病態制御研究センター」と熊本大学の「エイズ学研究センター」を統合・再編し、平成 31 年4月1日に両大学が合同で新たに設置したセンターである。

センター共通の研究に対する取組として、新型コロナウイルス研究のスタートアップ研究支援助成金制度を開始し、両キャンパスから各3名の応募があり配分を行った。

また、鹿児島大学キャンパス、熊本大学キャンパスから各2名がクロスアポイントメント教員となり、教育・研究を進めた。

その他：事務局

■新型コロナウイルス感染症への対応について

本学では、新型コロナウイルス感染拡大に関する対応について、学長のリーダーシップの下、感染状況に応じて学長・理事を中心とした新型コロナウイルス感染症対策会議を開催して、総務、企画・社会連携、教育、研究・国際、財務・施設、医療の全方面が連携した対応を行った。情報は、速やかに学生・教職員等へ通知し、感染拡大防止の協力を要請するとともに、感染者への人権尊重・個人情報保護への理解と配慮を依頼した。